

大臣賞5者など計26者

工事・業務部門は高橋建設

国土交通省は2月26日、2020年度i-Construction大賞の受賞者を発表し、有効性・先進性・波及性の観点から、国土交通大臣賞5団体、優秀賞21団体の計26団体を受賞者に決定した。

i-Construction大賞は、ベストプラクティスの共有と普及を目的に17年度に創設し、今年度で4回目となる。▽国や地方自治体などが発注した工事・業務での元請け企業▽自治体など▽i-Construction推進コンソーシアム会員1の3部門で優れた取り組みを顕彰する。
工事・業務部門の大臣賞に

は、高橋建設による山間地の県発注工事での積極的なICT活用での積極的なICT活用の取り組みを選定。急斜面で危険性の高い起工測量・丁張設置、職員による現地確認を回避するため、3次元測量・データ活用によって、作業日数を5日短縮した。全国でも初となるミニバックホウの3次元マシンガイダンスは日立建機本社でも高く評価されている。

地方公共団体等の取組部門の大臣賞は、橋梁・除雪・河川の各分野での業務の効率化・高度化のために新技術の導入や民間との連携、CIMの活用などを進める富山市が選ばれた。道路占用許可申請の電子申請システムの構築やイ

ンフラ関連の情報を官民間で共有化するためのプラットフォーム構築など多数の先進的な取り組みが評価された。
i-Construction推進コンソーシアム部門は、三井住友建設と北海道岩見沢農業高校、助太刀の3者が大臣賞を受賞。三井住友建設は、鉄筋配置・結束作業をロボットアームを使って自動で行う「ロボタラス」を開発。作業員による配置・結束状況の確認時間が省略でき、作業員1人当たりの1日に組立可能な枚数が約50%増加するなど大幅に生産性を向上させた。岩見沢農業高校は、高校生が起工測量から設計、重機施工、出来形計測までのすべて

の土木プロセスでICT施工と従来施工の時間や人員を比較し、ICT施工による生産性向上と安全性を実証した。助太刀は、工事会社と職人をマッチングするサービスを軸に、ファクタリングや保険

工具修理、建機レンタルなどをワンストッププラットフォームとして提供している。各部門の受賞者、団体名などは次のとおり。

●工事・業務部門(受賞者)
①工事・業務名②所管・発注者
▽国土交通大臣賞
▽高橋建設①国道439号社会資本整備総合交付金工事②高知県
〈優秀賞〉
▽濱谷・山田・真壁経常JV①釧路港新西防波堤建設工事②北海道開発局
▽鴻池組東北支店①一関遊水地舞川水門新設工事②東北地方整備局
▽河本工業①H30旗井堤防強化(上・下)工事②関東整備局
▽興和①R1信濃川下流地質調査業務②北陸整備局
▽丸連建設①一般国道403号小須戸田上バイパス舗装工事②新潟市
▽みらい建設工業中部支店①平成30年度長良川下坂手河道しゅ

んせつ工事②中部整備局
▽東亜・大本JV①令和元年度名古屋港金城ふ頭岸壁(第12号)地盤改良工事②中部整備局
▽木下建設①すさみ串本道路里野東地区東改良工事③近畿整備局
▽宮川興業①広島西部山系306渓流上流砂防堰堤工事②中国整備局
▽西海建設①長崎57号本村地区改良2期工事②九州整備局
▽大同建設①平成29年度金武B2工区改良工事②沖縄総合事務局
▽特許庁総合庁舎改修(16)機械設備工事①新日空・三晃JV①特許庁総合庁舎改修(16)機械設備工事②官庁営繕部
▽地方公共団体等の取組部門①受賞団体①取組名②取組地域
〈国土交通大臣賞〉
▽富山市①インフラを守る時代のi-Construction
〈優秀賞〉
▽山口県①建設ICTビジネス②中国
▽兵庫県①兵庫県ICT活用事業普及拡大の取組み②近畿
i-Construction推進コンソーシアム会員の取組部門(受賞者①取組名②所在地)
〈国土交通大臣賞〉
▽三井住友建設①鉄筋組立自動化システム「ロボタラス」の開

発②東京都
▽北海道岩見沢農業高等学校①高校生が挑戦したICT施工の全面実用化に向けた研究②北海道
▽助太刀①建設現場で働くすべての人を支えるアプリ「助太刀」で人手不足を解消し、建設現場を魅力的な職場へ②東京都
〈優秀賞〉
▽カナツ技建工業①ICT活用を促進する技術者の養成「研修カリキュラム(温故知新)の整備」②島根県
▽Libera ware①狭小空間専用小型ドローンを活用したインフラ設備点検②千葉県
▽セトウチ①UAVグリーンレーザ測量とマルチビーム測深を併用した測量の取組み②広島県
▽恵PCM①BIM/CIMモデル活用における技術の最適化と地域貢献②新技術の実装による生産性向上と女性活躍推進環境の整備②岩手県
▽前田道路、三菱電機エンジニアリング、法政大学①建設機械搭載型レーザスキャナによる土工・舗装工事のリアルタイム出来形管理の実現②東京都
▽中央復建コンサルタンツ①3次元デジタル技術を活用した高速道路路面崩落の早期復旧対応②大阪府
▽清水建設①東名高速との離隔70cm!遠隔参加型VRを用いた施工検討の効率化②東京都

動化システム「ロボタラス」の開

